

ゆうゆう通信

平成28年9月1日発行 第20号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047

「祭」夏祭りを行いました

三階では、今年のテーマは「縁日」ということで、エレベータホールで駄菓子屋さんを行いました。二階では綿あめと鈴カステラの屋台を出しました。利用者様は懐かしい味のおやつに「美味しい！」と言われ目を細めておられました。中には作り方を教えてくださる利用者様もおられ、屋台の周りでは利用者様と職員の楽しそうな笑い声が聞かれました。

また職員の子供さん、実習生にもお手伝いしてもらい、一層盛り上がりました。二階の皆さんも三階まで足を運んでいただき、ゲームをしながら昔懐かしい駄菓子をいただくことができました。

縁日の雰囲気、夏祭りの雰囲気を出そうと、提灯や御神輿、七夕の笹飾りなど賑やかな飾りつけを行い、夏祭りを盛り上げました。

夜の部では外に出て、フラメンコと太鼓の出し物や花火を楽しみました。中には感動して涙を流す方もおられ、心に残るひと時が過ぎました。花火は、各階ごとにテーマを作り花火を上げました。三階のテーマは「ゆうゆう三階、夏の暑さに負けず元気でGO」でした。二階のテーマは「二階のきおい」でした。各階のテーマが告げられると、夜の空めがけて勢いよく打ち上げ花火が上がり、皆さんしばしの間、花火に見とれていました。

通所では、八月二〜四日にかけて夏祭りを行いました。毎年恒例のお昼のバイキングでは、新メニュー『オランダ焼き』に挑戦しました。上郷食生活改善推進委員のみなさんのご協力により焼きそばやたこ焼きなど、日替わりのメニューを楽しむことができました。

午後からは、ボランティアさんに来ていただいたり、宝引きをして楽しみました。フラダンスのボランティアさんは、夏休み中ということもあり、かわいい子供たちのダンスや、



全国グランプリの高校生のダンスを見せていただきました。宝引きでは、引いたものがその日の三時のおやつということもあり、皆さん必死で釣っておられました。四日間にわたって、日替わりでいろいろな事を楽しめました。

人形劇がやてきた♪

人形劇エスタ ゆうゆう公演



八月六日(土)、今回で五回目となる飯田人形劇フェスタゆうゆう公演が開かれました。暑い日差しが照りつける中、冷房の効いたデイルームにて、一般の方、観覧希望されたゆうゆう利用者様、スタッフ、併せて二百人近い観客の前で今年も二つの劇団の公演が行われ、会場いっぱい笑顔をもたらしてくれました。

ひとつ目の劇団、『はらぺこあおむし』の演目は皆様ご存知の「三匹のこぶた」と「はらぺこあおむし」。どちらも本来のストーリーからアレンジされ、パネルシアター形式で行われました。やることなすこと裏目に出るとても気弱なお腹をすかせたおおかみに同情しながら三匹のこぶたのコックさんとのやり取りに笑いを隠せませんでした。また、はらぺこあおむしは、好き嫌いをしながらもお腹を壊すほどよく食べるあおむしの最後の变身ぶりに驚嘆の音が上がっていました。



弱気な狼がかわいい「3匹のこぶた」



巨大な蝶々に変身「はらぺこあおむし」

生きているかのような ゆうくんの腹話術

ことば遊びと気球の物語 どこまで飛んでいく？

ゆうゆうスタッフによる 幕間の手遊び！ 「もういいか～い？」



幕間には、ゆうゆうスタッフによる手遊びを一般来場した子供たちと元氣よく行いました。『もういいかい』『もういいよ』の掛け声で本日二つ目の演目が始まりました。

二つ目の劇団『おしゃべり劇場ぼっけ』の演目は、ゆう君の腹話術に、パネルシアターを使った言葉遊びと気球の物語。腹話術では、人形のゆう君とぼっけさんのユーモアあふれるテンポ良い漫才(?)に聞き入り、言葉遊びでは、問いかけられた問題にゆうゆうスタッフも真剣に頭をひねりながら答えを出し、気球に最後に乗ったユウレイさんから目をそらす子供たちをほほえましく眺めながら、本日の演目はすべて終了しました。

不在者投票を行いました

七月六日に参議院選挙の不在者投票をゆうゆうで実施しました。

ゆうゆうは、入所者の方が多数おられるため、不在者投票の投票施設として、選管から登録を受けています。施設に入所しているとなかなか投票に行くことができません。大切な一票を棄権することなく、投票できるように、ゆうゆうでは二階食堂に、投票所を開設しました。今回は、総勢四〇名程の入所者の方が不在者投票を希望され、投票を行いました。飯田市に住所がある方だけではなく、飯田市以外の住所を持つ方も投票することができました。ご自分で記入することができない方に対しては、担当の職員が代筆をさせていただきます、投票していただきます。

ゆうゆうでは、希望者された方全員の選挙を、滞りなく実施することができました。ご協力ありがとうございました。

選挙を無事終えた利用者様は、施設に入ってもこのような形で政治に参加できてうれいとおっしゃっていました。



今月のボランティアさん

「佐藤ヒロユキカルテット」

八月十一日（山の日の祝日）にデイケアに佐藤ヒロユキカルテットの皆さんが来て、ジャズの演奏をしてくださいました。

メンバーの中には、いつもゆうゆうの歯科診療に来てくださっているJAの歯科の先生も参加してくださいました。

「枯葉」などのジャズのスタンダード曲を中心に、昔懐かしい曲を演奏してください、自然に体を揺らしてリズムを取る方もいらつしやいました。最後には、利用者さんのハーモニカとのコラボレーションで「ふるさと」を演奏し、利用者様もみんな歌って、楽しい演奏会になりました。



火災通報装置連動を実施しました

消防法で平成三十年までに火災通報装置の連動を求められており、消防署からは、できる限り早めの実施を求められており、八月十七日に設定工事を行いました。

今までも、火災通報装置のボタンを押すと自動に消防署に繋がりに、話をしなくても消防署から出動するようになっており、緊急時手が離せない時など有効なシステムになっていました。

今回、工事を行ったのは、さらに火災の際、火災感知機のボタンが押された場合や、感知器が火災を感じた場合に、火災通報装置のボタンを押さなくても、自動に飯田消防署まで通報が行くようになりました。実際に火災が起こった場合には威力を発揮することとなります。

秋の防災訓練も計画されておりますが、上郷地区の皆様にはご協力をいただくことになっております。万一来に備えて、その際はよろしくお願いいたします。



うやうや紹介

うやうや二階でこんなに沢山の野菜や花が育っています。

顔より大きな葉っぱが何枚も生き生きと育っています。なんででしょう？実はついていませんがズッキーニです。実がついたら、天ぷらや、バター炒めをして皆さんで食べることを楽しみにしています。野菜カレーでもいいですね。（写真一）

つやつやで、濃い紫色の茄子ですが、先日焼茄子にして食べてみました。実がトロトロしていておいしかったです。（写真二）

太陽の光を浴びて、赤く育ったトマトです。散歩に来た利用者様が一つ、二つと口にして楽しんでいきます。（写真三）

アゲラタムと、マリーゴールドですが上郷小学校の皆さんと一緒に植えました。こんなに、大きくなりました。一緒に植えた生徒さんと一緒に、花を見ながらお茶でもしたいですね。（写真四）



【写真1】



【写真2】



【写真3】



【写真4】

いま、介護の現場では…

看介護係長 園田 直美

ちょっと重たいお話ですが、今回はうやうやで行っている「看取り」をご紹介します。

『死は、誰にでも必ず訪れる人生の自然な出来事です。…自分の死、家族の死を想像する事はつらいことかもしれませんが、死について考えることは、生きることを考える事でもあります。』

これは、飯田市医師会の「事前指示書」からの抜粋です。

うやうやの利用者様の平均年齢は八十七・三歳です。利用者様が加齢により食事がとれなくなつた場合には、ご家族に対して医師から病状を説明した上で、積極的な医療処置や延命処置を希望されるのか、又は自然な「看取り」を希望されるのか意志を確認させていただいています。ご家族や利用者様が自然な看取りを希望した時には、ご家族・本人の意向に沿つた「看取りケア」を実施しています。（年間で三〜四名の看取りを行っています。）

どのような看取りをしたいかまた、どんな最期を希望するのか、ご本人やご家族の意向をしっかりと伺い、希望に沿つて「付き浴い」「やつてあげたいこと」などが実現できるように支援をしています。

一か月後に生まれるひ孫と面会できたり、大好きな味噌汁を味わうことができたり、利用者様、

ご家族にとつて最期の時が良い時間となるよう、行っています。

ご希望に沿つた支援を、医師、介護福祉士、看護師、リハビリ職員、栄養士などがチームを組んで行っています。

ご家族が集まる機会に、人生の最期の時のことを話し合う時間が持てるといいですね。



〈編集後記〉

飯田下伊那でも七月七日をかきりに十月まで花火大会が行われています。また先月はリオでのオリンピック、パラリンピックが行われ日本人選手の一生懸命な姿に感動しました。覚えておいででしょうか？十月下旬内路、諏訪神社建社で行われる秋季例祭会は1998年の長野冬季オリンピックの閉会式に参加した江戸時代からの伝統的な雰囲気味わえる仕掛け花火です。

信州の短い夏、既に朝、夕は涼しい風が吹き秋の虫の音も聞かれるようになりました。伝統色、豊かな地元の祭りを五感で堪能してみたいかがでしょうか。（保）